

教職に関する科目

- 中学校教諭 1 種免許状
- 高等学校教諭 1 種免許状

教職に関する科目

芸術学部

免許法施行規則に定める 専門教育科目区分等		本学で開設する科目		修 得 単 位		備 考
科 目	単位	科 目	単位	中 1	高 1	
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務 及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各 種の機会の提供等	2	○教師論	2	2	
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び 思想 幼児、児童及び生徒 の心身の発達及び学 習の過程(障害のあ る幼児、児童及び生 徒の心身の発達及び 学習の過程を含む。)	6	○教育の原理 教育哲学 日本教育史 西洋教育史	2 2 2 2		
	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項		○人間の発達と学習 発達心理学 特別支援教育 学習心理学 教育心理学 発育発達論	2 2 2 2 2 2	6	6
	教育課程の意義及び編成の方法		○学校制度と社会 教育社会学 教育行政学 生涯学習概論 環境教育	2 2 2 2 2		
指導法に関する科目	教育課程及び 各教科の指導法	高6 / 中12	○教育課程編成論	2	2	2
	道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機 器及び教材の活用を含む。)		○音楽科指導法Ⅰ ○音楽科指導法Ⅱ 音楽科指導法Ⅲ 音楽科指導法Ⅳ ○美術科指導法Ⅰ ○美術科指導法Ⅱ 美術科指導法Ⅲ 美術科指導法Ⅳ ○工芸科指導法Ⅰ ○工芸科指導法Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4	4
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリング に関する基礎的な知識 を含む。)の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4	○道徳教育の理論と方法 ○特別活動の指導法	2 2	2 2	— 2
	総合演習	2	○教育の方法と技術 コンピュータと学習支援 教育方法学	2 2 2	4	2
	教育実習(事前・事後の指 導1単位を含む)	中5 高3	○児童理解と教育相談 ○生徒理解と教育相談	2 2	4	4
	中学校 高等学校	31 23	○総合演習	2	2	2
			○教育実習(中学校) ○教育実習(高等学校)	5 3	5 —	— 3
			免許状取得に 必要な単位数		33	27

[備 考] ○印は必修科目

※① 各教科の指導法は、取得しようとする免許状の教科ごとに履修してください。

※② 指導法は、取得しようとする免許状の教科以外、余剰単位として充てることはできません。

(例) 美術(中1種、高1種)および工芸(高1種)の免許状を取得しようとする場合、美術の免許状を申請する際には『工芸科指導法Ⅰ・Ⅱ』を「教職に関する科目」の余剰単位として充てることはできません。

※③ 「道徳教育の理論と方法」は、中1種免のみ必修。高1種免申請の場合は「教科又は教職に関する科目」として充てられます。

教科又は教職に関する科目

- 中学校教諭 1種免許状
- 高等学校教諭 1種免許状

教科又は教職に関する科目

芸術学部

免許法施行規則に定める科目		本学で開設する科目		修得単位	備 考
科 目	単位	科 目	単位		
教科又は教職に関する科目	中8 高16	異文化理解と教育	2	} 中8 高16	高1種免のみ
		生命と性の教育	2		
		精神保健 ^{※②}	2		
		情報メディアの活用	2		
		道徳教育の理論と方法	2		

※①「教科又は教職に関する科目」には上記科目の他に、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の余剰単位を充てることができます(p.200参照)。
 ※②パフォーミング・アーツ学科、ビジュアル・アーツ学科のみ

免許法施行規則66条の6に定める科目

- 中学校教諭 1種免許状
- 高等学校教諭 1種免許状

免許法施行規則66条の6
に定める科目

芸術学部

免許法施行規則に定める科目		本学で開設する科目		修得単位	備 考
科 目	単位	科 目	単位		
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2	■教職関連科目群より履修
体育	2	体育Ⅰ	1	2	■コア科目群より履修
		体育Ⅱ	1		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	2	コア科目群
		コミュニケーション・イングリッシュⅠ	2		
		コミュニケーション・イングリッシュⅡ	2		
情報機器の操作	2	マルチメディア入門	2	2	} コア科目群
		ネットワーク入門	2		
		プログラミング入門	2		
		データ処理入門	2		